

中宮中だより

No. 7

平成30年(2018年)10月2日
枚方市立中宮中学校
校長 鶴島 茂樹

<文化祭 大成功!!>

スライドを使って諸注意(生徒会作成)



オープニングは吹奏楽部



9月28日文化祭、充実した1日でした。開会式で、「一生懸命」が観る者を感動させるというお話をしましたが、まさにその通りの文化祭でした。1, 2年生の合唱も3年生の劇も、誰一人手抜きをすることなく、本当に一生懸命の声、演技だったと思います。そして、生徒会本部役員の企画力、行動力も光っていました。

合唱はどの学年、どのクラスも、大きな声が体育館一杯に響きました。そして、3年生の劇はどのクラスもテーマがはっきりと打ち出され、そのテーマに向けて、ぶれることなく本当にシリアスに演技していました。すばらしかったと思います。また、展示作品も充実していました。一昨年度、昨年度に引き続いて、中宮中学校の良き伝統が創られたのではないのでしょうか。これらの結果は、それまでの毎日の真剣な取り組みの積み重ねがあったからこそだと思います。いくつかのトラブルを乗り越えてきたクラスもあったことでしょう。本番だけでなく、そういった日々も含めて、それぞれのクラスの大きな財産となったはずです。

そして、最も大切なことは、それらを「思い出」としてしまいい込むのではなく、次の一歩につなげることです。それが出来てこそ、文化祭で得た団結力やお互いの信頼関係が本物だったと言えるのではないのでしょうか。

合唱も劇も授業も学校生活も、みんなで創り上げるものです。これからの毎日、今まで以上にみんなで力を合わせてがんばっていきましょう。(裏面にも写真あり)



←3-4 「自殺試験」

人生に絶望して「あの世を楽しむ会」への入会を希望する主人公。本当に「あの世に来る資格」があるのかどうかの試験を受けるのだが・・・

生きることの尊さ、大切さに主人公が気付いていく。

3-1 「銀河のはずれに」→

1995年1月17日、阪神淡路大震災。妹をなくした少女。少女の愛読書「銀河鉄道の夜」等、宮沢賢治の作品や詩が挿入されるなか、仲間たちとの温かい交流を通して、少女の心に希望の光が射し込む。仲間の繋がりが生まれる。妹はきっと銀河のはずれで見守っている・・・



←3-2 「グッド バイ マイ」

生まれる前の世界。主人公たちは、生まれた後の自分の運命を知り、生まれることを躊躇するのだが・・・

たった7日間のために生まれることを選んだ「緑」を通して、運命は自分の意志で切り拓くものであることに気づき、人生のスタートを切る。



3-3 「おばけのチャチャチャ」→

主人公は、文化祭でのお化け屋敷の実行委員長だが、孤立している。そんな彼のところへ「おばけのチャチャチャ」の歌とともにおばけたちが現れ、おばけの世界へと誘うが・・・彼は、自分を支えてくれる友人の存在に気付く。



2-1 「輝くために」「君に届け」



1-1 「変わらないもの」



茶華道部



美術



2-2 「かえられないもの」「ひまわりの約束」



1-2 「マイバラード」



2-3 「この地球のどこかで」「チェリー」



1-3 「そのままの君で」



社会科



2-4 「My Own Road」「アイネクライネ」



○1, 2年生ともに、大きな声が出ていて、迫力がありました。男女の声のバランスもよく、非常にきれいなハーモニーでした。また、ホリゾンも各クラス、よく工夫されていたと思います。クラスがまとまらないとこのような合唱は出来ません。この団結力を今後の授業や学校生活に生かしていきましょう

音楽科



平和レポート

